



複雑形状部品のバリ・面取り加工も楽々

# 自動面取機

## あらゆるニーズに柔軟に対応出来る多種多様なバリ取り機シリーズ



### 形状倣い方式の「面取り先生」

本機は異形ワーク、各種歯車等の面取り加工（またはバリ取り）を自動で行う面取機です。ワークの側面を倣いながら面取加工をする為、プログラムや位置決めが不要であり、またワーク寸法や形状にバラツキがあっても面取り寸法は常に一定となります。ハンドル操作により面取り量も容易に調整ができ、オプションのブラシユニットを付属すれば同時にブラシ掛け（刃具摩耗による2次バリ対策）も行うことが出来ます。



その他のPLCシリーズとして、

- PLC-102 (大型ワーク対応)
- カッターヘッド傾斜仕様 (軸付ギア等)
- ローダー付き専用機仕様 (自動化ライン) 等、

数多くのタイプが揃っています。

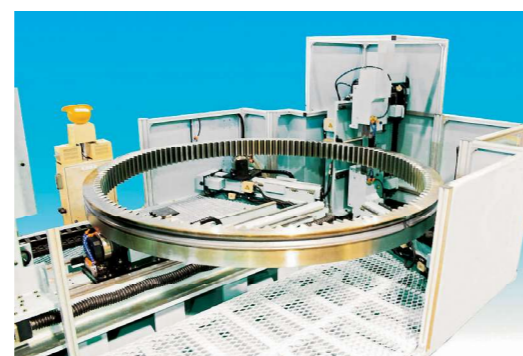
#### 機種一例



2頭式面取り機 (ローダー付)

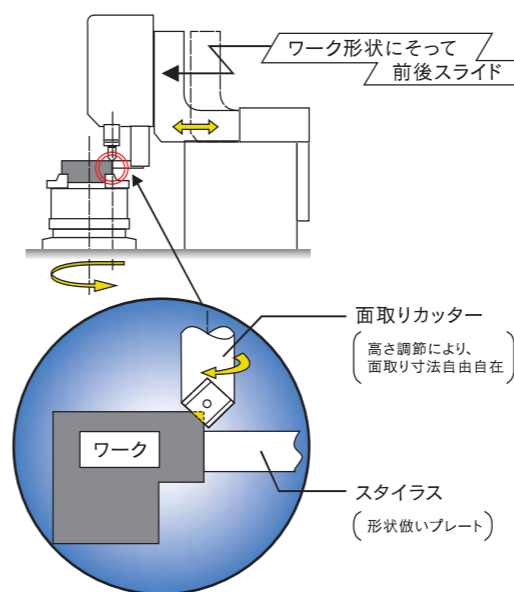


5頭式バリ取り機



大型ギヤ面取り機

#### PLCの特徴



#### プログラムおよび位置決め不要

バリ・面取りをするワークそのものの形状を倣いながら加工するため、NC工作機械などで面取りする際に必要なプログラムやワークの位置合わせは要りません。

#### NC機以上の面取り精度

現物倣い方式のため、ワーク寸法や形状のバラツキ等が発生しても、面取り寸法は常に一定となります。

#### 大きなバリもそのまま除去

バリの根本から削り取る為、大きいバリでも1度で取り切れます。

#### 熟練度を必要としない操作性

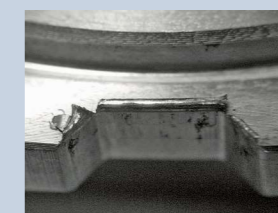
ワークセット時の位置合わせが必要なく、面取り寸法や送り速度が、ハンドルとツマミ操作で簡単に調整できます。

#### コンパクトで移動も簡単(PLC-101)

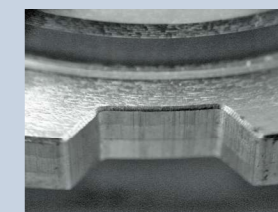
幅550mm、奥行1030mm、高さ1665mmとロボットやNC機に比べると非常にコンパクトでシンプルな設計になっています。キャスター付きで移動も簡単です。

#### 加工例

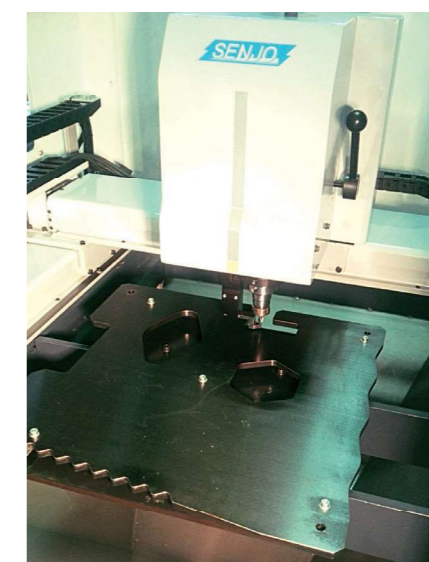
加工前



加工後



## フローティングチャンファー FC-500



#### 【特徴】

- ① ラフなティーチングでも、均一な面取りが可能です。
- ② 製品にバラツキがあっても、面取りサイズは一定に保てます。
- ③ 内周、外周の加工も、ワンチャッキングで対応できます。
- ④ 専用治具により、複数個の連続加工も可能です。
- ⑤ 長物や複雑形状等、これまで難しかった製品も加工可能となりました。